

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	○与えられた課題に真面目に取り組み、積極的に発言できる生徒が多い。 ○テーマに沿って自分の考えをまとめ、分かりやすい文章を書くことに課題がある。 ○漢字や文法事項に苦手意識をもつ生徒が多く、語彙力が不足している。	○自分の考えや感想、授業の振り返りを書く時間を設け、考えを書くことへの抵抗感を減らし、伝えたいことを論理的に表現する力を育てる。 ○漢字や文法事項は定期的に復習を行い、語彙を増やすプリント等で定着を図る。 ○一人一台タブレットを利用し、多様な文章や考えに触れ、対話や交流を通して自分の考えを広げ、深めるようにする。 ○文章に主観的に向き合うのではなく、客観的・批判的に捉え、言葉による見方・考え方を豊かにするように課題設定をする。	
社会	○グラフ・写真等の資料を読み取る力に課題がある。 ○自分の言葉で考えをまとめ、記述することが苦手の生徒が多い。 ○基礎的な知識の習得に課題が見られる生徒もいるが、意見交流の時間においては積極的な交流が見られた。	○ICTやワークシートで様々な資料を提示し、それらの読み取りや、それらを踏まえた発問を日々の授業の中で取り入れる。 ○ペアでの意見交流やグループワークを積極的に取り入れ、言語活動を活発にする。 ○学びに向かう力を育成するため、身近な課題について問う等、生徒の社会科に対する興味・関心を引き出す発問を行うよう工夫する。	
数学	○授業では、活発に活動している生徒が多いもの、特に基礎クラスの生徒は、基礎的・基本的な内容の定着に課題が見られる。 ○既習事項を活用して課題を解決する力、「数学的な見方や考え方」を必要とする発展的な問題を解く力を伸ばす指導の工夫が必要である。	○日々の机間指導や小テストなどにより、生徒のつまずきを早期に発見し、的確な助言や指導を行う。また、話し合い活動により、生徒が疑問を解決し合う時間を多く取り入れる。 ○1つの課題に対する複数の考えを比較・検討したり、発展・統合したりするために、グループやクラス全体で討議する時間を設けることにより、「数学的な見方や考え方」を伸ばす工夫をする。	
理科	○都学力調査では、「理科の学習はどのくらい得意ですか」の問いに「得意」と答えた生徒が15.7%に留まり、昨年度と比べて1.9ポイント、都平均より5.1ポイント低くなっている。 ○観察実験の結果から理由を考え、考察し、表現する力が不足していて、「思考・判断・表現」の観点とは、他と比較しても評価が低い。	○単元後のテストの結果等から、基礎学力の定着を図ることはほぼできているが、「得意」と感じるほどには自信をもてていない。授業中もできたことや積極的な発言を褒める指導を徹底し、学力の定着だけでなく自己肯定感を向上させる。また、自然現象等を日常生活と関連付けて学習を進め、興味関心をもたせる。 ○観察実験ではレポートを重視し、結果を科学的に考える習慣を付けさせ、適切な方法で表現させる。	
音楽	○積極的に歌唱や器楽の活動に参加できる生徒が多い。実技での基礎的な内容の習得が比較的早い。個人差が大きく、時間を要する生徒がいる。	○授業で、実技の個人練習の時間を可能な限り多くし、個人指導を実施したり、合唱コンクールの活動も生かしたりすることで、個人差を少しでも解消する。	
美術	○意欲的に取り組んでいる生徒が多いが、制作を進めるうちに、表現することが困難な生徒が出てくると考えられる。	○スモールステップで表現の方法を学ぶようにさせる。制作の進め方の例を提示して、イメージを膨らませる。粘り強く取り組めるよう繰り返し声をかけたり、時間設定を工夫したりする。	
保健体育	○知識を習得することはできている。習得した知識を課題発見や課題の改善に向けて活用することができない生徒が多い。	○知識をアウトプットするために、授業レポートをタブレットにて提出させる。また、課題発見や課題の解決をしていくために、タブレットを活用して手本と自分の動きと見比べたりすることができるよう工夫する。提出されたレポートに教員からコメントを書くことでフィードバックを行う。	
技術家庭	○意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。 ○小学校での経験や他教科での既習事項を活用して取り組もうとしている。 ○学習内容を自分の生活や将来へ関連付けて、学びを深めたり広げたりしようとする意識が低い。	○ICTを活用し、資料や作業の進め方の例を提示して目標達成までをイメージさせ、理解が技能につながる支援をする。また、繰り返し粘り強く取り組める声かけや時間設定を工夫する。 ○生徒用タブレットPCやデジタル教科書等を活用し、主体的に取り組むための興味関心をより高め、学習内容に見通しをもたせて理解を深める。 ○導入やまとめに、実生活での実用例を挙げ、生活とつながる場面を想定できる工夫を入れる。 ○見方・考え方を広げ、様々な情報を得た上で、知識を活用しまとめしていく力を伸ばす工夫をする。	
外国語	○与えられた課題に対してよく取り組んでいるが、知識の定着に課題がある。 ○小学校からの経験の効果により音声面の運用の基礎ができているが、自分の意見等を表出するまでには達していない。	○オーラルプラクティスの充実と、ライティング指導の強化により補完する。 ○テキスト等の反復練習とともに、自分の思いを表出する機会を毎回与え、プラスのフィードバックをすることで、モチベーションを継続的に引き出す。	

